

須賀川市では「第3期すかがわエコ実行プラン」のもと、市内小中学校7校の校舎照明をLED器具に改修しました。約4,300台の入れ替えによって、課題としていたCO₂排出量の抑制を図り、年間の電気使用量、電気料金、維持費も大幅に軽減。同時に、全校舎に明るく快適な照明環境をもたらしています。

福島県須賀川市では、国の「地球温暖化対策計画」の施策・目標等に即した実行計画として「すかがわエコ実行プラン」を3期（2011年、2017年、2022年）にわたって策定し、実行してきました。第3期では庁舎における省エネの取り組みをはじめ、公共施設の効率的運営、施設の改修、新規建設による再エネ・省エネ設備の導入を図っており、その一環として公立小中学校7校の校舎照明をLED化しました。



【物件概要】
所在地：福島県須賀川市
対象施設：須賀川市立小学校3校・中学校4校
施主：須賀川市
賃貸借事業者：大和リース株式会社福島支店
施工：県南電気工事協同組合須賀川支部
（株式会社佐浦電設、株式会社ニイダテック、有限会社鈴電気、株式会社車田電気、桐清電設株式会社、廣田電気工事店、有限会社鶴川電設）
竣工：2026年2月

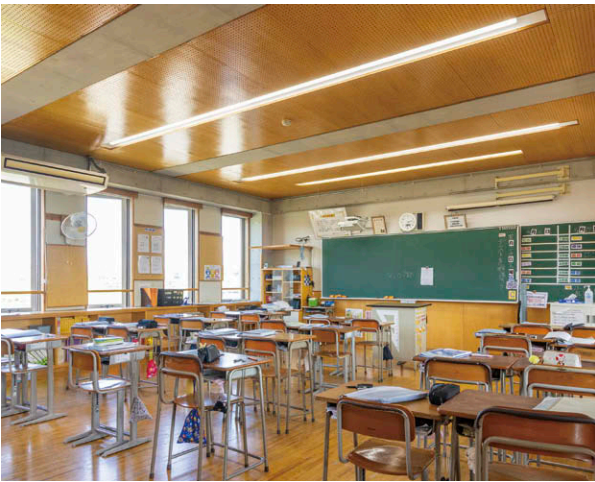


3F音楽室 LEDベースライト①とLEDユニットフラット形屋外用ブラケット④による照明

市内7校の小中学校の校舎照明約4,300台をLED化。省エネを実現し、CO₂排出量を抑制。

今回の改修では、従来の方式よりスピーディに対応でき、多数校を一括で行うスケールメリットも見込める賃貸借契約において、市内7校の小中学校の照明をLED化しました。初期投資を抑えて費用を平準化し、10年間にわたり故障修理等が発生した場合も市の費用負担はありません。工事においては、授業の妨げにならないよう騒音対策を徹底し、給食室はピンポイントの日程で実施したほか、撤去した照明器具の保管整理など、学校ならではの現場対応に配慮しました。また、既存器具の埋め込み寸法を更新器具用に調整したり、吊り具を現在の規格に合うよう施工し

たりしました。既存の特注照明から形を変更した器具等についても、違和感のない照明器具を選定しています。さらに教室に関しては、学校環境衛生基準の照度500ルクス以上を確保しています。仁井田中学校では、教室や音楽室などにLEDベースライトを、多目的室にはLEDスポットライト、図書室にはLEDユニット交換形ダウンライトを設置。また、廊下壁面には屋外用ブラケットを採用しています。7校全体のLED器具への改修は約4,300台にのぼり、年間の電気使用量、CO₂排出量ともに約66%の削減が見込まれています。



2F教室 LEDベースライト①による照明



3F廊下 LEDユニットフラット形屋外用ブラケット④による照明



2F多目的室 LEDスポットライト⑥による照明



1F昇降口 LEDベースライト③による照明



2F理科室 LEDベースライト②による照明



1F図書室 LEDユニット交換形ダウンライト⑤による照明

主な掲載器具一覧 設置場所	器 具 名（品種名）	形 名	台数	消費電力
仁井田中学校 校内	① LEDベースライト TENQOOシリーズ40タイプ 直付形	LEKT40T253N-LS9	179	17.0W
	② LEDベースライト TENQOOシリーズ40タイプ 埋込形	LEKR422694HN-LS9	67	36.0W
	③ LEDベースライト TENQOOシリーズ40タイプ 埋込形	LEKR430524HN-LS9	31	26.4W
	④ LEDユニットフラット形屋外用ブラケット	LEDB85903+LDF6N-HGX/C7/7/2	79	5.8W (100V)
	⑤ LEDユニット交換形ダウンライト	LEKD103025N-LS9	188	7.9W
	⑥ LEDスポットライト	LEDS-20113W-LS	64	20.9W (100V)